

## 中学歴史の教科書の表紙に！

今年度より中学歴史の教科書(教育出版)の表紙にこの土器が登場しています。南アルプス市でもこの教科書を採用していますので、市内の中学生は、教科書を開けることなく毎回この土器を見ていることになります！



中学社会の教科書は全国で約8社ほどあるようですが、この教科書は全国19の都道府県で採用され、山梨県では21の市町村が採用しています。

## 愛称募集中！

現在この土器の愛称を募集しています。ふるさと文化伝承館内の用紙でご応募ください。  
●12月24日(金)まで



## 縄文ドキドキ総選挙2021

# 優勝！！



縄文ドキドキ会主催のネット投票企画で、9月26日から10月末まで開催され、この土器が、見事優勝しました！平成27年度の「どくキャラ総選挙」で「子宝の女神ラヴィ」の優勝に続いての南アルプス市の優勝です。全国に多くのファンがいるということが証明されました。また、地元櫛形地区をはじめ、小学校などで応援が盛り上がったというお話もお聞きしました！多くの市民の皆様の応援有難うございました。

## ふるさと文化伝承館で会える！

通常は、ふるさと文化伝承館(野牛島2727)で展示しており、関連グッズも販売しています。



人体文様付有孔罎付土器  
高さ54センチメートル程の樽型をした土器で、愛くるしい表情の土偶が貼り付いています。おなかの文様が「子宝の女神ラヴィ」と

いもじやいせき  
鑄物師屋遺跡  
市之瀬台地に程近い、扇状地上に立地する縄文時代中期(約5000年前)のムラの跡で、直径130メートルの範囲に32軒の竪穴住居跡が配置されていました。  
平成4年度から発掘調査が行われ、膨大な量の土器や土偶、石器が発見され、その内205点の出土品が国の重要文化財に指定されています。祈りの道具など他で見られない個性的な出土品が多く、なかでも、「子宝の女神ラヴィ」の名で知られる「円錐形土偶」と「人体文様付有孔罎付土器」は、当時の精神文化を知る貴重な資料であり、世界中の博物館で紹介されるなど、まさに日本縄文文化の「顔役」と言えます。

同じ、土偶特有の文様をしているので、描かれているのは土偶だということがわかります。  
有孔罎付土器というのは、土器の縁の方に罎のような出っばりと小穴がめぐっている土器で、出土量も少なく、使用目的については謎に包まれています。太鼓という説もありますが、むしろ、ヤマブドウやニワトコの実の出土事例から、果実酒の醸造用の土器とする説が有力と考えられています。

また、表面にはカエルやヘビのような文様が描かれることはありますが、これほどまでにはつきりと全身の姿が描かれ(左手は復二凸)これだけ大きな土器は他に例がありません。いずれにしても、日用品とは考えづらく、祭事用や儀礼用等の特別な道具だとみられます。  
これまで数々の海外の展覧会で紹介されていますが、フランスでは国宝と並んで複数の雑誌などで取り上げられるなど、扱いが国宝級といえます。まさに日本縄文文化を代表する土器なのです。

# 祝！日本一

## 国指定重要文化財

# 人体文様付有孔罎付土器

—じんたいもんようつきゆうこうつばつきどき—

# ふるさと

# の173

# 誇り



# 博レポート



海外展への華麗なる貸し出し履歴  
平成7年 重要文化財に指定される  
平成7年 イタリアローマ市立展示館へ  
平成9年 マレーシア国立博物館へ  
平成13年 イギリス大英博物館へ  
平成21年 イギリス大英博物館へ  
平成30年 フランスパリ日本文化会館へ  
その他国内各地への貸し出しは数知れず



竪穴住居の中から割れた状態で出土しました。4割くらいが樹脂による復元です。